

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | (仮称)つきみ野1丁目計画新築工事 | 階数 | 地上9F |
| 建設地 | 大和市つきみ野一丁目1番8、9、10 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 準工業地域 | 平均居住人員 | 652 人 |
| 気候区分 | 地域区分 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2014年12月 予定 | 評価の実施日 | 2013年9月10日 |
| 敷地面積 | 6,105 m ² | 作成者 | 株式会社長谷工コーポレーション |
| 建築面積 | 1,905 m ² | 確認日 | 2013年9月10日 |
| 延床面積 | 12,836 m ² | 確認者 | 株式会社長谷工コーポレーション |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|---|
| 総合 周辺地域の環境との調和に配慮し、シンボリックな外観・緑豊かな足元空間の創出を目指す。 | | その他 0 |
| Q1 室内環境 外皮性能: 住宅性能表示制度、省エネルギー対策等級4取得。 化学汚染物質: F を90%採用。他のVOCも少ない。 | Q2 サービス性能 内装計画: インテリアパースの作成などにより、エントランスのシミュレーションを行った。 躯体材料の耐用年数: 住宅性能表示制度、構造躯体劣化等級3同等の仕様を採用。 | Q3 室外環境 (敷地内) 建物を道路境界からセットバックし、緑地を設けることでプライバシーを考慮した計画とした。 |
| LR1 エネルギー 住宅性能評価における省エネルギー対策等級4を取得し、潜熱回収型給湯器や節湯器具を採用することにより、省エネルギーに配慮した。 | LR2 資源・マテリアル 壁紙用接着剤に化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含まない部材使用。 | LR3 敷地外環境 省エネルギーに配慮した計画とすることで、環境負荷の低減を図った計画としている。 |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される